病院を受診された患者さまへ（2026 年 3 月 11 日　第 2 版）

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 （研究番号）	子宮頸部腺癌の進展、悪性度の変化にかかわる分子病態の解明のための後ろ向きコホート内症例対照研究
研究代表者 （所属）	川上　史(医学研究科　細胞病理学講座)
他の研究機関および各機関の研究代表者	近畿大学医学部　産科婦人科学教室（研究責任者名：松村 謙臣） 公立豊岡病院　産婦人科（研究責任者名：松原 慕慶） 京都大学医学部附属病院　病理診断科（研究責任者名：伊藤　寛朗） 静岡県立総合病院　産婦人科　（研究責任者名：浮田 真沙世） 和歌山赤十字病院　産婦人科（研究責任者名：山西　優紀夫） 熊本大学病院　病理診断科（研究責任者名：三上　芳喜）
本研究の目的	この研究は、子宮頸癌のたちの悪さを判断し、治療指針の確立に貢献することを目的として行います。 子宮頸癌の 2 割を占める腺癌は、ヒトパピローマウイルス(HPV)が発癌に関与する HPV 関連性腺癌（HPVA）と HPV 非依存性腺癌（HPVI）に分けられます。その悪性度と進行因子を解明し、早期診断と腫瘍の特徴に合わせた個別化治療の確立を目指し、HPVI の前駆病変の自然史解明や腺癌の進行リスクバイオマーカーの探索、HPVA の遺伝子発現と免疫微小環境の解析を行います。
研究実施期間	研究機関の長の許可日～　2035　年 3　月　31 日
調査データ(該当期間)	2010 年 1 月～2020 年 12 月の期間に得られた試料・研究実施期間中の経過観察情報
研究の方法 （利用する試料・情報等）	●対象となる患者さま 2000 年から 2024 年に琉球大学病院および共同研究機関において子宮頸部腺癌もしくは LEGH と組織学的に疑われた、もしくは診断された成人の患者様で、本人または代理人から参加拒否の申し出があった場合を除きます ●利用する試料・情報 術後病理診断が行われた後の残余組織　（病理組織像、免疫組織化学、RNA in situ hybridization、子宮頸癌に関する既知の体細胞遺伝子変異、遺伝子発現パターン）

	診療録の情報(細胞診判定、細胞診採取日、組織採取法、組織診断、年齢、生年月、HPV テスト、閉経状況、術前画像腫瘍径、術後療法の有無・内容、再発の有無・内容、最終受診日、予後・経過、臨床検査データ（血液検査や生化学検査、腫瘍マーカーなど）
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	なし
試料・情報の二次利用	**研究で利用する試料・情報の将来の利用について** 本研究で収集された試料および情報は、将来、医学研究の発展を目的とした別の研究に利用される可能性があります。 その場合には、改めて倫理審査委員会の承認を得た上で実施します。
個人情報の取り扱い	研究において対象者の情報を扱う際は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化します。論文作成時、学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いません。また、同意の範囲外において情報の利用を行いません。委託先など他機関との試料・情報の授受の際には、追跡可能な郵送手段を用い、電子的な授受の場合はデータをパスワード設定し安全な方法で送受信します。 匿名化の際に作成された対応表は、本学では個人情報管理者　産科婦人科学教室 松村謙臣 （教授） が、近畿大学医学部産科婦人科学教室の鍵がかかるキャビネットにて管理します。
本研究の資金源 （利益相反）	代表機関の講座において一括管理を行う寄附金，委任経理金，運営交付金、文部科学省科学研究費(25K12704)にて行う。近畿大学　松村謙臣は文部科学省科学研究費(25K12704)の分担者であり、研究に必要な雑費は分担金より支払う。 開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。
お問い合わせ先	（代表機関） 電話：098-894-5158 担当者：川上　史（琉球大学大学院　医学研究科　細胞病理学講座） （近畿大学） 〒590-0197 大阪府堺市南区三原台 1 丁 14 番 1 号 電話：072-288-7222（内線 2076） 担当者：松村謙臣（近畿大学医学部 産科婦人科学教室）
備考	